患者と医療者はなぜすれ違うのか?

- わかってもらえない
- 治療のことが伝わらない
- ・患者の気持ちや考えが

【患者背景】

42歳、女性、フリーランスのグラフィックデザイナー。2年前に社内の健康診断で肝機能の数値が高いことが 指摘されたが、仕事が忙しく、その後のフォローアップを怠っていた。肝臓の疾患に対する知識が乏しく、症状 がないため重要性を感じていない。ストレスが多い生活のため、アルコール消費量が多い。

コーディネーター 最近、体の調子はいかがですか?以前指摘された肝機能の件、引き続き注意していた たきたいのですが。

特に変わりないですね。仕事が忙しくて、あまり気にしていません。

コーディネーター 実は、定期的な検査をお勧めしたいんです。肝機能の数値が高いと、何か問題が潜ん

でいる可能性がありますから。

患者 そうなんですか?でも、今のところ具体的な不調はないんです。検査って結構 # 間がか

かるし……。

コーディネーター お忙しい中恐縮ですが、検査を受けていただくことで、もし問題があれば早期に対処でき

るんです。予防は大 切ですよ。

わかってはいるんですけど、今、仕事が山積みで……。もう少し落ち着いたら考えます。

コーディネーター ~心 の声~仕事の忙しさに追われていると、健康管理が後回しになってしまうもの。しか

し、放っておくと重大な状態になりかねない。どう説得したら……?

【患者背景】AST 72 IU/L、ALT 85 IU/L、HCV RNA 6.2 log IU/ml

54歳、男性、自営業者。趣味で週末に釣りを楽しむが、仕事のストレスが多く、不規則な食生活と睡眠不足が続いている。5年前にC型肝炎の診断を受け、抗ウイルス療法を開始したが、副作用と忙しさのために治療を中断。最近、肝機能の悪化が見られ、再び治療を勧められているが、前回の経験から治療再開に躊躇している。

コーディネーター 前回の治療は中断されたと聞いていますが、肝機能のさらなる悪化を避けるためにも、治

療の再開を強くお勧めします。

患者 正直、前回の治療でかなり辛 い思いをしたんです。副作用 がひどくて、仕事にも支 障が出

ました。今回も同じことになったらどうしようかと思って…

コーディネーター 前回の治療での苦労は理解しています。しかし、治療をしないことで肝臓の状態が悪化し、

最終的には肝硬変や肝がんへと進行するリスクが高まります。そのような状況になれば、

もっと大きな苦痛や損失が待っています。

患者 それはわかってるんですけど、また同じ苦しみを味わうのが怖いんです。治療を始めて、また

仕事が手につかなくなったらどうしよう…

コーディネーター 治療の副作用は確かにい配ですが、現在は以前よりも副作用が少ない治療法もあります。

- 緒に副作用を最小限に抑えつつ、治療を続けられる方法を考えましょう。また、治療に

よる短期的な苦痛よりも、長期的な健康を守ることが最も重要です。

患者 長期的なことを考えればその通りなんでしょうけど、今の生活にまた大きな負担が加わるの

が嫌なんです。前回のような状況にならない保証があれば・・・

コーディネーター 完全な保証は難しいですが、定期的なフォローアップや副作用への対処方法を事前に計

画することで、治療をよりスムーズに進めることができます。~心の声~何か治療に前向き

になるきっかけがあればいんだけど・・・

患者と医療者はなぜすれ違うのか?

- ・わかつてもらえない
- 医療者の言っていることが 理解できない
- 医療者に言いたいことが上 手く言えない、伝わらない

- ・わかってもらえない
- 治療のことが伝わらない
- 患者の気持ちや考えが 理解できない

患者と医療者の すれ違いのメカニズム

患者さん





患者と医療者はなぜすれ違う・オカかってもらえない

- わかってもらえない
- 医療者の言っていることが 理解できない
- ・医療者に言いたいことが上 手く言えない、伝わらない

- 治療のことが伝わらない
- 患者の気持ちや考えが 理解できない

すれ違いの解消法

- 患者・家族・さらに医療者も、すべてを合理的に理解することは難し い(限定合理性)ことを認識する
 - >影響を与えるバイアスの存在を考慮する
- 合理性を前提としない意思決定・行動変容のための仕組みを活用 する
 - (1)フレーミングの活用 :患者のバイアスを考慮した説明の仕方
 - ②ナッジの活用 ・患者に明確な方向性を示す(推奨の明確化) コミットメントの強化による行動変容
 - ③医療者自身 への意思決定支 援を利用 →チーム医療

患者と医療者はなぜすれ違う・ヤカかってもらえない

- 治療のことが伝わらない
- ・患者の気持ちや考えが 理解できない

- ・わかつてもらえない
- 医療者の言っていることが 理解できない
- ・ 医療者に言いたいことが上

フレーミング効果とは?

■ 同じ現象のポジティブな側面(ポジティブ/利得フレーム) とネガティブな 側面(ネガティブ/損失フレーム) のどちらに焦点を当てるかで意思決定 が変化すること

例: 利得フレーム「この治療を受けると90%の確率で治ります」 損失フレーム「この治療を受けないと10%の確率で死にます」

- (1)フレーミングの活用 : 患者のバイアスを考慮した説明の仕方
- ②ナッジの活用 :患者に明確な方向性を示す(推奨の明確化) コミットメントの強化による行動変容
- ③医療者自身への意思決定支援を利用→チーム医療

患者と医療者はなぜすれ違うのか?

- ・わかつてもらえない
- ・治療のことが伝わらない
- ・患者の気持ちや考えが

【患者背景】

42歳、女性、フリーランスのグラフィックデザイナー。2年前に社内の健康診断で肝機能の数値が高いことが 指摘されたが、仕事が忙しく、その後のフォローアップを怠っていた。肝臓の疾患に対する知識が乏しく、症状がよいため重要性を感じていない。ストレスが多い生活のため、アルコール消

合理性を前提と した説明

コーディネーター 最近、体の調子はいかがですか?以前指摘された肝機能

だきたいのですが。

患者 特に変わりないですね。仕事が忙しくて、あまり気にしていません。

コーディネーター 実は、定期的な検査をお勧めしたいんです。肝機能の数値が高いと、何か問題が潜

んでいる可能性がありますから。

患者 そうなんですか?でも、今のところ具体的な不調」はないんです。検査って結構 # 間がか

かるし……。

コーディネーター お忙しい中恐縮ですが、検査を受けてし 正常性バイアス 早期に対処でき

るんです。予防は大 切ですよ。

患者 わかってはいるんですけど、今、仕事が山積みで……。もう少し落ち着いたら考えます。

コーディネーター ~心 の声~仕事の忙しさに追われていると、健康管理が後回しになってした。しか

し、放っておくと重大な状態になりかねない。とう説得し

現在バイアス 現状維持バイアス

【患者背景】AST 72 IU/L、ALT 85 IU/L、HCV RNA 6.2 log IU/ml

54歳、男性、自営業者。趣味で週末に釣りを楽しむが、仕事のストレスが多く、不規則な食生活と睡眠不足が続いている。5年前に2型肝炎の診断を受け、抗ウイルス療法を開始したが、副作用と忙しさのために治療を中断。最近、肝機能の悪化が見られ、再び治療を勧められているが、前回の経験から治療再開に躊躇している。

コーディネーター 前回の治療は中断されたと聞いていますが、肝機

損失フレームでの認知

療の再開を強くお勧めします。

患者 正直、前回の治療でかなり辛 い思いをしたんです。副作用 がひどくて、仕事にも支 障が

出ました。今回も同じことになったらどうしようかと思

は日の沙馬での世界は田畑」でいます。しかし、 損失フレームでの説明

ば、もっと大きな苦痛や損失が待っています。

患者 そればわかってるんですけど、**また同じ苦しみを味わうのが怖いんです**。治療を始めて、ま

た仕事が手につかなくなったらどうしよう…

コーディネーター 治療の副作用は確かこ心配ですが、現在は以 損失フレームでの認知 ります。

緒に副作用を最小限に抑えつつ、治療を続けられる方法を考えましょう。また、治療に

よる短期的な苦痛よりも、長期的な健康を守ることが最も重要です

患者 長期的なことを考えればその通りなんでしょうけど、 損失フレームでの説明

が嫌なんです。前回のような状況にならない保証。

コーディネーター 完全な保証は難しいですが、定期的なフォローアップや副作用への対処方法を事前に計

画すれば、治療をよりスムーズに進めることができます。 ~ 心 の声 ~ 何か治療に前向き

になるきっかけがあればいんだけど・・・